

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	7011	(H.24)No.	-
-----------	------	-----------	---

事務事業名	伊賀南部環境衛生組合一般会計		
担当部局名	担当室名	室長名	
伊賀南部衛生組合事務局	総務室	手島左千夫	

会計区分	事業コード
伊賀南部環境衛生組合一般会計	(中事業名) 予算書事業名
款	
項	(小事業名)
目	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2	循環型社会の創造
	施策	3	廃棄物処理
	小施策		
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
資源循環型社会の構築を目指して、環境に配慮した安全かつ適正な廃棄物の処理を推進します。
事業内容
・組合事務の処理及び廃棄物処理施設を管理する。 ・管内の燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみを収集する。 ・管内のごみをクリーンセンターで焼却処理と分別リサイクル処理をする。 ・ごみ最終処分場の管理運営 ・管内のし尿及び浄化槽汚泥を処理する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	・組合事務、廃棄物処理施設の管理業務 21,842千円 ・ごみ(可燃・不燃・資源)収集業務(直営9台、委託11台) 251,883千円 ・最終処分場の施設管理業務 16,940千円 ・し尿処理場の運営管理業務 206,006千円 ・クリーンセンターの運営管理業務 526,658千円 ・中継所の運営管理業務5,366千円 ・ストックヤード施設管理業務3,782千円<H23繰越分> ・クリーンセンター精密機能検査業務委託 3,763千円	・組合事務、廃棄物処理施設の管理業務 17,231千円 ・ごみ(可燃・不燃・資源)収集業務(直営9台、委託11台) 269,854千円 ・最終処分場の施設管理業務 14,019千円 ・し尿処理場の運営管理業務 192,650千円 ・クリーンセンターの運営管理業務 536,138千円 ・中継所の運営管理業務 6,506千円 ・ストックヤード施設管理業務 3,296千円	・組合事務 ・廃棄物処理施設等の施設管理 ・ごみ(可燃・不燃・資源)収集業務 ・し尿処理場、クリーンセンター等運営管理業務	・組合事務 ・廃棄物処理施設等の施設管理 ・ごみ(可燃・不燃・資源)収集業務 ・し尿処理場、クリーンセンター等運営管理業務	・組合事務 ・廃棄物処理施設等の施設管理 ・ごみ(可燃・不燃・資源)収集業務 ・し尿処理場、クリーンセンター等運営管理業務

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	(3,763千円) 1,211,171千円	1,274,988千円	1,287,100千円	1,327,100千円	1,327,100千円
国・県支出金					
地方債		15,200			
その他()	234,974	289,844	265,964	265,964	265,964
一般財源	(3,763) 1,392,209	1,371,156	1,021,136	1,061,136	1,061,136
職員	45.0	44.0	44.0	38.0	37.0
臨時職員等	16.0	16.0	11.0	16.0	15.0
概算人件費	(0千円) 416,012千円	401,212千円	494,900千円	370,900千円	365,800千円
+ 総事業費	(3,763千円) 1,627,183千円	1,676,200千円	1,782,000千円	1,698,000千円	1,692,900千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
・市民や委託業者等の協力を得ながら安全かつ適正で円滑なごみの収集を行なうとともに各施設の特性を生かし周辺環境に配慮した適正な施設の運営管理に努めることができました。 ・浄化センターの老朽化に伴う施設の方向性について引き続き検討を行なう必要性があります。	・引き続き安全かつ適正で円滑なごみの収集を行なうとともに各施設の特性を生かし周辺環境に配慮した適正な施設の運営管理を行ないます。 ・浄化センターの老朽化に伴う施設の方向性について引き続き検討を行ないます

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	・資源循環型社会の構築に向け、周辺環境に配慮しつつ、各施設の特性を生かしながら安全で適正な運営管理及び廃棄物処理を行なうことが出来ました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(検討内容を記載)	・一部地域での資源ごみの自主回収を行うことができました。 ・今後は、未実施の地域において、必要事項の調整・合意が得られれば実施地域の拡大等の検討を進めます。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由
・廃棄物の処理については、住民の日常生活に密着した事業であることから市民の理解協力を得ながらごみの排出削減のための分別・リサイクルを促進しつつ、各施設の安全かつ適正な運営管理及び施設の維持に努めます。

6. 事務事業の取組に係る主な市の計画

・第4次ごみゼロリサイクル社会を目指すアクションプログラム ・名張市総合計画理想郷プラン後期計画
